

商 況

●米國金物商況 (五月上旬)

鐵鋼其他金物製造業に復々起りたる狂暴なる同盟罷工は鐵の消費及工場の產出高を多少減少せしむる結果を生せり、鐵鋼工業に勞働問題の爆發するは一般に避け難きものとせらるゝも夏期に至れば停止すべきものと豫想せらるゝなり。

銑鐵 四月中銑鐵の產出は大に減少し三月中三、三三七、六九一屯即ち一日一〇七、六六七屯に對し三、二二七、七六八屯にして一日一〇七、五九二屯に過ぎず、此れ或る熔鑛爐の操業減縮に依るものなるも間もなく恢復し、四月一日の產出高は一〇八、四五九屯なりしに五月一日の產出高一〇九、〇七二屯に上れり工場の注文引受は依然輻輳し居りて何時になれば復舊するや見込付かず、新規買付皆無の姿にて先物價格何程なるや各當事者の重大なる問題なり、殊に戰時用鋼材の買入に於て然りとす乍併此種の鋼材の買付益々其量を増加し多數の彈丸の新注文ありたれとも、外國買手代人の申込みたる數量以上にはまた必要ある見込なり。

軌條、來年に於て入用なる軌條は四月中に殆んど全部買

付終了し製造家か賣惜みたる數量まで切り込み契約成立せり、就中「カナダ」市場に於て賣出されたる軌條三〇、〇〇〇屯あり、同國は戰亂用鋼材の注文多額に上れるも「ヘーヤーマーチット」會社の一五〇〇〇屯の軌條の注文は「アルゴマ」にて引受濟となれり、一般の價格は強氣にして頂上に達せるものあり「ワイヤーネールス」及び「バーブワイヤー」貳弗、亞鉛鍍針金四弗、鐵管は鑛油採取向のもの四弗乃至六弗、棒鐵貳弗形物及繼目鉄參弗乃至五弗等の値上げ實行せらる。

鐵鍍製造家は未だ全產額を賣盡すに至らざるも「シカゴ」に於ては日本及太平洋沿岸國向「ピッツブルグ」渡四仙にて商内成立し、特に日本向鐵鍍は數隻の汽船に滿載する數量に達せり。太西洋沿岸國の造船業者も鐵鍍の買付益々急にして爲めに價格五弗昇騰せり。

銑鐵、市況稍沈靜の氣配なるも最近一週間の手合は前三週間の全額に達せり、南部は北部地方程強氣にあらず「バロミンガム」來年六月迄の引渡のもの拾五弗五拾仙にして「セントルイス」に於て「シカゴ」より壹萬五千屯のペーシック銑の買付をなし尙同數量を引續き交渉中なり、西部「ペンシルベニア」の製鐵會社は「ベセマー」銑熔鑛爐渡貳拾壹弗少し上の値段にて二五、〇〇〇乃至三〇、〇〇〇屯契約締結したるも鑄物及機械製造工業に於て「ストライキ」の爲め鑄物銑の消費減少し鑄物銑は目先騰貴の景況なし。